

\\ 10分でわかる！ //

2026年6月IAASBボード会議

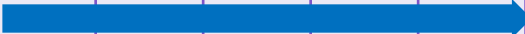
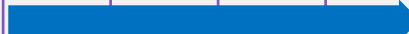
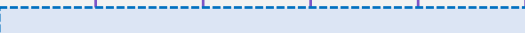
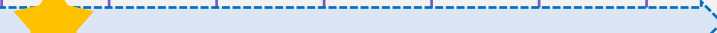
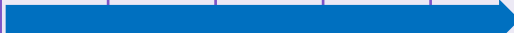
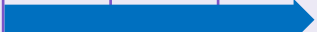


【説明者】

甲斐 幸子（当協会研究員）

辻 安紀子（当協会研究員）

IAASBの主なスケジュール（2025年～2027年）

プロジェクト名	2025年				2026年				2027年			
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月
監査証拠及びリスク対応						★ ED						承認
ISA 500シリーズ		情報 収集			PP	★			ED			
ISRE 2410		PP			ED	5/6 ED公表	9/3 締切			承認		
テクノロジー・ポジション						★						
テクノロジー（品質マネジメント）		情報 収集			PP	★				承認		
ISA 540（改訂）適用後レビュー			情報 収集		2/17 survey	6/15 締切						
ISA 315（改訂）適用後レビュー							情報 収集					
ISA for LCEのメンテナンス				PP			★ ED				承認	
2028年から2031年の戦略及び作業計画			情報 収集	1/21 Survey	5/15 締切			ED				承認

PP：プロジェクト・プロポーザルの承認（予定含む。）

ED：IAASBボードでの公開草案の承認（予定含む。）

承認：IAASBボードでの最終承認予定

CP：コンサルテーション・ペーパーの公表予定

Survey：公開協議の公表

締切：SurveyやEDのコメント募集期限

監査証拠及びリスク対応

プロジェクトの概要

- 規制当局を含めた利害関係者から、監査証拠とリスク対応について統合的に扱うプロジェクトが必要との意見を受けたことから、ISA 500^{*1}、ISA 330^{*2}及びISA 520^{*3}を改訂するプロジェクトを行っている。
- 従来から行っていた監査証拠プロジェクトで扱っていた論点に加え、内部統制、テクノロジーに関連した論点が扱われている。

2026年6月ボード会議の審議概要

- 以下を含めた論点について議論が行われたのち、公開草案の承認審議が行われ、全会一致で承認された。
 - ▶ 内部統制の運用評価手続のみの実施
 - ・ 評価したアサーション・レベルの重要な虚偽表示リスクに対して内部統制の運用評価手続のみで対応する場合の要求事項について議論が行われた。
 - ▶ 企業内部の情報源からの情報に対する正確性と網羅性の検討
 - ・ 監査証拠として利用することを予定する情報が企業内部の情報言から入手されている場合の要求事項について議論が行われた。

タイムライン

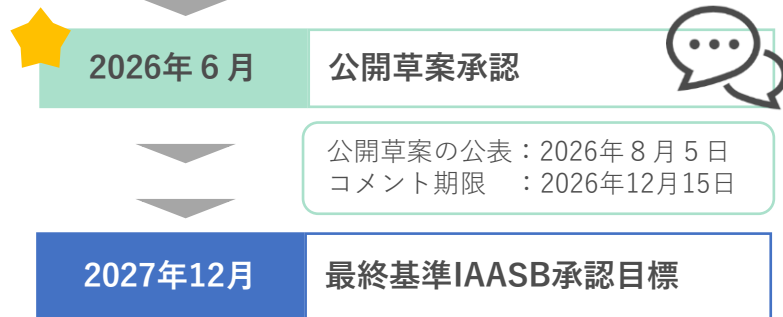
2024年3月：情報収集

2024年9月：ボード審議

2024年12月：プロジェクト・プロポーザル承認

2025年3月、6月、9月、12月：ボード審議

2026年3月、5月：ボード審議



*1 ISA 500「監査証拠」

*2 ISA 330「評価したリスクに対応する監査人の手続」

*3 ISA 520「分析的手続」

ISA 500シリーズ

プロジェクトの概要

- テクノロジーの利用による影響を含め、現在の企業及び監査環境を反映するため、**ISA 501**^{*1}及び**ISA 505**^{*2}を改訂するプロジェクトを行うことを予定している。

2026年 6 月ボード会議の審議概要

■ 主に以下の論点について議論が行われた。

▶ 棚卸資産の立会（ISA 501）

- 棚卸資産が財務諸表において重要である場合に、当該棚卸資産の実在性と状態についての十分かつ適切な監査証拠の入手と、実務的に不可能でない限り実地棚卸の立会が求められていることに関する今後の改訂方針が提案された。

▶ 第三者の保管と管理下にある棚卸資産（ISA 501）

- 第三者が保管し、管理している棚卸資産が財務諸表において重要である場合の規定の変更が提案された。

▶ 確認（ISA 505）

- 第三者保管の現預金又は売上債権に関する固有リスクが低い場合、監査人に対して、当該勘定残高及び関連する注記事項に関して確認手続を実施するかどうかの判断を求めることが提案された。

タイムライン

2025年 6 月：情報収集

2025年12月：ボード会議

2026年 6 月

プロジェクト・プロポーザル
承認

★ 2026年 6 月：ボード会議



2026年12月

公開草案承認目標

2028年 3 月

最終基準IAASB承認目標

*1 ISA 501 「特定項目の監査証拠」

*2 ISA 505 「確認」

3 テクノロジー（品質マネジメント）

プロジェクトの概要

- 手続の立案及び実施の支援として業務において使用される、生成AIを活用したテクノロジー・ツールに関する品質マネジメントについて、規範性のないガイダンス文書の策定を行う。

2026年6月ボード会議の審議概要

- 規範性のないガイダンス文書の策定のためのアクション案が示され、議論が行われた。

《ガイダンス文書の構成》

ガイド1：生成AIを活用したツールに関する全体的な枠組み

ガイダンス文書の目的及び範囲、用語、基準における関連する概念及び原則、ガイダンス文書を通じて使用される共通概念等

ガイド2：生成AIを活用したツールの入手、開発、設定及び承認

パート1：サービス・プロバイダーが開発したツール

パート2：事務所が開発したツール

ガイド3：承認されたツールの導入及び利用可能化

利用承認、教育・研修、専門家、メソドロジーへの統合等

ガイド4：業務レベルでの利用

指揮、監督及び査閲、自動化バイアス、アウトプットの評価等

ガイド5：展開後の監視及び対応、再検証及び廃止

展開後の監視、再検証、是正等

タイムライン

2026年9月及び10月：ボード審議

ガイド1及びガイド2パート1の審議及び承認

2026年12月：ボード審議

ガイド2パート2及びガイド4の審議及び承認

2027年3月：ボード審議

ガイド3及びガイド5の審議及び承認

2027年6月：ボード審議

ガイド1～5全体の調整等のための審議及び承認

テクノロジー・ポジション

プロジェクトの概要

- IAASBは、テクノロジーに関する課題と、関連して考えられるIAASBのアクション案（基準設定、規範性の無い公表物の策定、モニタリングの継続等）を記録した「テクノロジーに関する課題と提案するアクションの一覧（Technology Catalogue of Issues and Proposed Actions）」（テクノロジー・カタログ）を作成し、定期的に更新を行っている。

2026年6月ボード会議の審議概要

- 以下の課題をテクノロジー・カタログに追加する提案がなされ、議論が行われた。

課題	暫定的なアクション案	優先度
【被監査企業によるテクノロジーの利用】		
暗号資産に関する業務を行う企業の監査に関する課題	更なる情報収集の実施	中
被監査企業に影響を及ぼす高度なサイバーセキュリティの脅威が監査に及ぼす影響	更なる情報収集の実施	中
【その他の保証業務】		
AIに関する保証	更なる情報収集の実施	中
サステナビリティ保証	モニタリングの継続	低
サイバーセキュリティに関する保証	更なる情報収集の実施	中

監査、監査以外の保証業務及びAUPに関する取組



[ホーム](#) > [協会について](#) > [協会の活動](#) > [監査、監査以外の保証業務及びAUPに関する取組](#)

監査

監査以外の保証業務及びAUP

国際監査・保証基準

解説動画等

ワークプラン及び適用スケジュール

公開草案等へのコメント



公認会計士とは

専門情報

一般企業の方へ

ニュース

ホーム > 協会について > 協会の活動 > 監査、監査以外の保証業務及びAUPに関する取組 > 国際監査・保証基準

国際監査・保証基準

> 国際監査・保証基準の基礎知識

国際監査・保証基準の基礎知識を紹介します。

> 国際動向紹介（監査・品質管理）

海外の監査・品質管理の動向を紹介するページにリンクします。

> 解説・会議報告等

IAASBが公表する国際監査・保証基準等の解説やボード会議、その他国際的な会議への参画について報告します。



●●信頼の力を未来へ
jicpa

